

(様式第1号)

平成25年度 第1回芦屋市放課後子どもプラン運営委員会 会議録

日 時	平成25年5月29日(水) 10:00~12:00
場 所	北館4階 教育委員会室
出席者	委員長 守上 三奈子 副委員長 半田 孝代 委員 中上 二郎 委員 中村 美津子 委員 金本 ひとみ 委員 杉本 じゅん子 委員 中田 伊都子 委員 北野 章 委員 田中 徹 委員 西村 雅代 委員 茶嶋 奈美 教育長 福岡 憲助
欠席者	委員 中村 整七
事務局	社会教育部長 中村 尚代 生涯学習課長 長岡 一美・生涯学習課管理係長 北條 安希 生涯学習課管理係 北詰 真衣
会議の公表	■ 公 開
傍聴者数	0人

1 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
- (3) 教育長あいさつ
- (4) 委員自己紹介, 事務局職員自己紹介
- (5) 委員長, 副委員長の選出
委員長1名・副委員長1名
- (6) 議題
 - ア 平成24年度放課後子どもプラン利用状況等について
 - イ 平成24年度の決算及び平成25年度の予算について
 - ウ 平成25年度の取組みについて
 - ・事業周知及び保険について
 - ・安全管理人の研修及び意見交換会について

- ・校庭開放一旦下校解消の取り組みについて（報告）

エ その他

(7) 第2回運営委員会開催の日程について

2 提出資料

- ・レジメ
- ・委員名簿
- ・芦屋市附属機関等の設置に関する指針
- ・芦屋市放課後プラン（子ども教室型放課後対策）事業実施要
- ・平成25年度ひょうご放課後プラン事業の実施について
- ・平成23・24年度芦屋市放課後子どもプラン事業 参加人数
- ・平成24年度芦屋市放課後子どもプラン事業における曜日ごとの平均利用人数
- ・平成24年度芦屋市放課後子どもプラン 決算及び平成25年度の予算
- ・平成25年度の取り組みについて
- ・放課後子どもプラン事業のお知らせ（周知チラシ一式）
- ・放課後子どもプラン事業について

3 審議内容

(1) 委嘱状交付

各委員に教育長から交付

(2) 教育長あいさつ

(3) 各委員の自己紹介，事務局職員自己紹介

(4) 委員長・副委員長の選任

守上委員が互選により委員長に決定し，半田委員が委員長による指名で，副委員長に決定した。

守上委員長あいさつ

(5) 議題

<守上委員長>

平成24年度放課後子どもプラン利用状況について事務局より報告をお願いします。

<事務局：北詰>

(提出資料に基づき説明)

<半田委員>

現時点で，県から要綱が届いていないということですが，1小学校で補助の下限が40日以上ということですが，それは教室型も含んでいますか？

<事務局：北詰>

教室型も含まれています。小学校区ごとの報告となっておりますので、校庭開放と教室型と併せて、日数を報告しています。図書館子どもの部屋については、精道小学校区で報告しています。

<守上委員長>

利用現状について何かございませんか。

－意見なし－

<守上委員長>

では、議題（２）平成２４年度放課後子どもプラン決算及び平成２５年度の予算についてお願いします。

<事務局：北詰>

（提出資料に基づき説明）

<守上委員長>

補助金の申請金額は、増やしても問題ないですか。

<事務局：北詰>

昨年度までは、県の方でも事業を拡大すると聞いていたので、補助金申請をして、金額を減らしてほしいと言われることはなかったのですが、昨年の末頃から、県の方も財政状況が厳しいという中で、申請しただけ増やしてくれる状況ではなくなってきています。

今年度については、要綱改正の関係で、県から事業計画提出の依頼が現段階で来ておりませんので、申請書提出はこれからです。

<守上委員長>

では、引き続きまして議題（３）平成２５年度の取り組みについて、まず事業周知及び保険についてと、安全管理人の研修及び意見交換会について説明をお願いします。

<事務局：北詰>

（提出資料に基づき概略説明）

<中上委員>

保険の件について、昨年度、往復途上での事故事例はありましたか。

<事務局：北詰>

往復途上中の事故については1件ありました。

<中上委員>

校庭開放に来る途中であるというのは、どのように確認するのですか。

<事務局：北詰>

通学ルートであることを確認しています。

<中上委員>

子どもの交通安全ルールを、学校で教えているのは4年生からだと聞きました。今は1年生や幼稚園の子どもでも自転車に乗っておりますので、もっと早い段階で交通ルールを教えるべきだと思います。

保険に入っているから良いということではなく、怪我をしたら子どもが痛い思いをするので、直接放課後子どもプラン事業とは関係ありませんが、学校側として、前倒しで交通安全ルールを教えて欲しいと思います。また、親も交通安全ルールを守れていない方がいますので、子どもと一緒に親も学んでほしいと思います。

<北野委員>

交通安全ルールについては計画的に取り組んでいます。1年生、2年生は、交通安全教室で歩行訓練を中心にしています。3年生はCAP講習会で、自分で自分の身を守るための行動を体験的に学んでいます。自転車教室は4年生からです。成長段階に合わせて実施しているところなので、それぞれの過程を実施することで精一杯です。本当は、何でも早く実施できれば良いのですが、そうすると、低学年に全部集中してしまうという問題があります。

<金本委員>

昨年精道小学校で、市の出前講座を利用した交通安全の講習会がありました。市の方に他の学校でも開催して欲しいと言うと、お母さん方が声をかけてくだされば実施しますとおっしゃっていただきました。やはりお母さん方からの声が必要だと思います。

<守上委員長>

放課後子どもプラン事業に参加する時も、子どもたちは自転車で来ているので、学校

だけではなく、私たちも交通安全の面については考えていけない部分だと思います。

< 守上委員長 >

引き続きまして、平成25年度の取り組みの、校庭開放一旦下校解消の取り組みについて報告をお願いします。

< 事務局：北詰 >

(提出資料に基づき概略説明)

< 中田委員 >

朝日ヶ丘の管理人に状況を伺いましたが、新しい取り組みは始まったばかりで、今のところ遊びに来る子どもが増えたということはないと言っていました。そのうち増えるといいなと思います。朝日ヶ丘小学校は火曜日と金曜日は開放していませんが、なぜ毎日開放しないのですか。毎日実施出来ればと思います。

< 事務局：北詰 >

校庭開放を導入した当初は、コミスク活動や管理人の確保の状況があり、学校によって開放日が様々になったのではないかと考えています。

< 中田委員 >

開放日を増やすことは可能ですか。

< 事務局：北詰 >

保護者の方から開放日を増やしてほしい等の要望があり、また、管理人や予算の確保が整えば、開放日を増やすことは可能です。

< 中上委員 >

開放日一覧の中で、浜風小学校は月～土まで毎日開放していますが、コミスク活動はいつ行っているのですか。野球やサッカーのクラブがあるかと思いますが。

< 守上委員長 >

校庭を使うクラブについては、土曜日の午前中は校庭開放ですので、土曜日の午後や日曜日に行っています。

< 北野委員 >

校庭開放を実施しない曜日がある学校について、毎日実施している学校もあればそう

でない学校もあるという状態を今後も残していくのでしょうか。やはりどの学校も同じように取り組んでいるということが、理想ではないかなと思うのですが。

岩園小学校の平日実施日が2回というのは、管理人確保の問題だけですか？

<事務局：北詰>

管理人確保の問題もありますが、今後の考えとしては、教室型を充実させていきたいと思っております。例えば校庭開放の利用人数が非常に少ないところについて、開放する必要があるのか等、議論していく部分だと思っております。例えば土曜日に子どもが全然遊びに来ていないのに、開放し続けるのか等、学校の参加状況等に併せて考えて行きたいと思っております。一律に全部開放するというよりは、利用状況に応じて見直しながら進めたいと考えています。

管理人確保の問題はもちろんありますが、管理人がいないから開放しないという理由ではありません。

<北野委員>

岩園はなぜ週2回なのですか。

<事務局：北詰>

岩園については、管理人を募集しても、お願いしてもなかなか見つからない状況がありました。平日2名体制で実施するというので、確保できたのが水曜日と金曜日です。

今後、一旦下校解消の新しい取り組みがすごく反響があつて、保護者の方や学校から、開放日を増やしてほしいとか、これだけたくさん子どもたちが来るのであれば管理人引き受けても良いという方がいらつしゃって、体制が整いましたら、今後増やす方向で考えることは可能だと思っております。

<北野委員>

岩園は始まったばかりだから様子を見なければいけないということはわかりますが、単純に見て、5日開いている学校と、2日しか開いてない学校ではすごく差があると感じます。

<事務局：長岡>

全部の学校が同じである必要はないと思っております。実状に合わせて実施するほうが良いと思っております。教室型についても実施しているところとしていないところがあるので、条件的には全校一律ではないです。理想を言えば、全部一律にして、全部参加が多いことが理想ですが、参加が少ないのに開放しても、あまり意味がないと思います。一旦下校解消に向けて協議している際も、地域差の話が色々出ていましたし、芦屋は特

に山側と海側，中央で地域差が大きくあります。やはり実状に合わせて，子ども，学校，保護者にとってより良い事業として，参加者が多い方法で実施していきたいと思っています。この状態で固定させるという考えはありません。

<北野委員>

現在の開放日から減る可能性もありますか。

<事務局：長岡>

増える可能性もあるし，減る可能性もあります。

<半田副委員長>

芦屋は本当に地域差がありますね。

<中田委員>

お稽古事に行っている子どもが多いので，例えば岩園なら，月曜日に開放していたらお稽古がないから参加出来るのに校庭開放していないから遊べない，ということもきつとあると思います。やはりどの日でも参加できるようにしたほうが良いのではないかと思います。

<杉本委員>

管理人さんは登録制ですか？

<事務局：北詰>

そうです。地域の方にお願ひしまして，毎年，年度の初めに管理人承諾書をいただきます。一時間720円の報償金をお支払して管理業務をお願いしています。

<杉本委員>

管理人さんは，研修等を受けた上で業務に携わっているのですか。

<事務局：北詰>

応急手当や安全管理に役立つ研修を年に1回行っていますが，事前研修はありません。

<杉本委員>

管理人という肩書きがあると，保護者は入りづらいかもしれないですが，ボランティアという形で，自分の子どもが遊びに行く時に一緒に行く，近所の子どもと一緒に連れて帰ってくるというような形であれば，夕方から手が空く方や，下校の時間だけなら可

能な方は結構いらっしゃると思います。親はもう少し責任を持つべきだと思います。事故があってからだれかのせいにするのではなくて。地域の子どもは、保護者同士でも見守っていくべきであると思います。保護者の中でも、それなら出来るという声上がるのではないかと思います。

なので、そういう形で保護者に声かけが出来るのであれば、なにかお手伝いしたいと思います。遊びにいきたいけど、開放日が限られていて遊べる場所がない、みんなで集まる場所がないという風になるのは、かわいそうだと思います。

< 守上委員長 >

今までPTAの方に安全管理人をお願いしたことはないのですか。

< 事務局：北詰 >

今までは、地域やコミスクを通してお願いしたり、PTAの役員会に出席して、PTAからもお願いしていただいたりというような形で呼びかけていました。管理人の業務時間帯が4時から6時で、お母さん方は忙しい時間帯なので難しいとおっしゃられたこともあります。先ほど杉本委員におっしゃっていただいたみたいに、下校の時間だったら見守りしてくださるとか、近所の子を連れて一緒に帰っていただけるとか、そういった形でお声がけをしていただけることはすごくありがたいです。

< 西村委員 >

子ども政策課で、次世代育成支援対策行動計画の評価委員会を4月にさせていただいた時に意見が出たことですが、委員の1人の方が校庭開放の管理人をされていて、地域で管理人をお願いしてもなかなか引き受けてくれない現状があると訴えておられました。地域での子育てがこれからどんどん難しくなっていく、それは親の意識や地域の意識であるという意見をいただきました。もう少し地域というものの視点を広くして、裾野を広げていく取り組みも、この放課後子どもプランの中には必要ななと思いました。具体的にどうするかは、私たち委員も一緒に考えていかなければいけないと思います。

< 中村部長 >

その一方で、親御さんの方から居場所、安全管理というものを非常に求められる声があります。昔であれば、子どもは自由に遊んでいたと思いますが、それが出来なくなっている状況があるから、一旦下校が始まったり、管理人を置くことになったり、そういう時代の流れがあり、今の放課後プランの形になっています。

ボランティアは非常にありがたいことですが、そこに責任がどうしても出てきますので、まず保護者の方には、自分の子どもの管理はまず自分だということをしっかりご留意いただいた上で、どうしていくかを考えていただきたいと思います。限られた予

算の中で、一番高くつくのは人件費です。

例えば、ボランティアで、これだったら出来るという形で、部分的にしてしまうと抜けてしまうところがあるので、結果困ることになります。子どもの命がかかっているので、今日は手伝いだから行かなくて良いわ、という風に、急に抜けられてしまうと困るので、行っていただくのであれば、責任を持ってまっとうしていただくなど、ボランティアもルールが必要かなと思います。

<中村委員>

管理人さんの年齢的にはどのくらいですか。

ボランティアといえども、ある程度の責任を持たなくてはいけないので、ある程度有償ボランティアでしないと責任感を持ちにくいのかなと思います。

<事務局：北詰>

学校にもよりますが、60代から70代の方が多いです。

<中上委員>

ひとつの案として、地域の自治会や老人会にお願いするというのももちろん良い手だと思いますが、シルバー人材センターにお願いするというのはいかがでしょうか。

<事務局：北詰>

シルバー人材センターも、検討したことがあります。県の補助金をもらって実施している事業ですので、安全管理人の補助上限額が720円ですので、最低賃金にひっかかるという問題があり、シルバー人材センターにはお願い出来ませんでした。

お願いできたら、管理人を安定的に確保出来るしすごくありがたかったのですが。

<中田委員>

朝日ヶ丘コミスクの事業として「くらりか」の理科体験教室を行っていて、放課後プランでも教室型事業として理科教室を出来ればと思うのですが、どのように呼びかけたら良いですか。コミスクのメンバーが実施してしまうとコミスク行事になってしまうので、どのように棲み分ければ良いのでしょうか。

<事務局：長岡>

放課後子どもプランの教室型として実施するということで、保護者の方に周知していただき、子どもたちを募集していただければ、放課後プランの対象にはなると思います。

<半田副委員長>

地域の人たちをボランティアに取り込んだ組織の形としては、図書館友の会が参考に

なるかと思えます。子どもたちの為に、実施しようということで立ち上がって、組織の中にコミスクや保護者の方等がいて、地域の人を違う形で取り込んで、コミスクとはまた違う形で子どもたちを見守るという風になったらと思えます。

<中田委員>

どんな風に声をかけたらよいのか悩みます。私が声をかけるとコミスクだという風になってしまうので。企画したいけど、どのようにしたら良いのかと思っています。

<守上委員長>

浜風の場合は「学びクラブ」という名前をつけました。コミスク事務局をおいているのですが、PTAや地域の方々が集まってスタートして、実施日によって、担当を分けて運営したり、今までコミスクで実施していたおみこし作り等を学びクラブの中に持ってきたりしています。

<中上委員>

校庭開放周知チラシの中で、安全管理人が見つからない為、中止にしている曜日がありますが、2学期からは、通常通り実施するのですか。

<事務局：北詰>

打出浜小学校については、2学期から入ってくださる方が見つかりましたので、2学期には通常通りの予定で子どもたちにチラシを配れると思えます。

<中上委員>

打出浜小学校については、夏から大規模改修がありますが、夏休みの間は放課後プランがないのですが、9月以降の工事の場合は、危険が増すと思えますので、安全管理人さんは、普段より児童の安全面を特に気を付けて見ていただきたいと思えます。

<中村部長>

工事については、放課後プランだけではなく留守家庭児童会のこともありますので、確認します。

<茶嶋委員>

今日初めて参加させていただき、委員の皆様がおっしゃることは本当にその通りだと思っていて聞いておりました。自分の意見というのはなかなか言えませんでした。皆様の子どもを思う気持ちがすごく伝わりました。

<田中委員>

芦屋は昔からコミスクが非常に活発に活動されており、色々なところでそれをすごく感じております。留守家庭児童会は、現在全学校で週 6 体制でやっております。実状はまだ全然わかっておりませんが、色々なところで、コミスク等とうまく併せて実施していく場面も必要だと思っています。その辺を整理も含めて考えさせていただけたらと思っています。

<守上委員長>

浜風コミスクではプール開放をやっていて、留守家庭児童会にいっしょに実施しませんかと声をかけたことがあります。制度が違うから留守家庭児童会は別で実施するという風におっしゃられました。課題がある部分ではあると思います。

<事務局：北條>

皆様のお話を聞かせていただき、事務局として何が出来るのか、しなければいけないのかを考えておりました。例えば教室型にしても、こんなことが出来るのではないかと、色々自分の中で思っている、事務局がどこまで主体となって良いのかなど、考えながらお聞きしておりました。

<守上委員長>

では、次回の日程を決めたいと思います。

<事務局：北詰>

今回は 25 年 10 月 29 日（火）14 時から 16 時でお願いします。

<守上委員>

閉会